

令和6年5月27日からの 大雨における肱川の出水への対応【速報】

～引き続き流域治水を推進してまいります～

肱川橋上流域平均総雨量で138.8mm（時間最大雨量19.1mm）を記録し、大洲第二水位観測所（肱川橋地点）では避難判断水位（4.80m）に迫る最高水位4.26mに達しました。

今回の出水では、鹿野川ダムにおける貯留効果（流入ピーク時に約240 m³/s 貯留）により下流河川水位を低減（大川水位観測所地点で約40cm）させ、大川水位観測所地点の氾濫注意水位（4.50m）超過を回避させたと考えられます。

また、「流域治水整備事業～つなごう肱川～」において排水機場の新設が予定されている矢落川（都谷川排水樋門）に排水ポンプ車を配備し、排水ポンプ車を稼働させ、合計約54,000 m³の排水を行うことで浸水被害の軽減に努めました。

これから本格的な出水期を迎えます。近年激甚化・頻発化している水害に対し、引き続き流域治水の推進に向け、流域の関係者が一体となって取組を進めてまいります。

なお、資料における数値は速報値であり、今後修正する可能性があります。

（参考）

【記者発表】令和6年6月1日より肱川流域におけるダム操作ルールが変わります

肱川緊急治水対策により治水安全度が向上！

https://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kisya/r06/pdf_r06_kisya0517.pdf

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を初めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

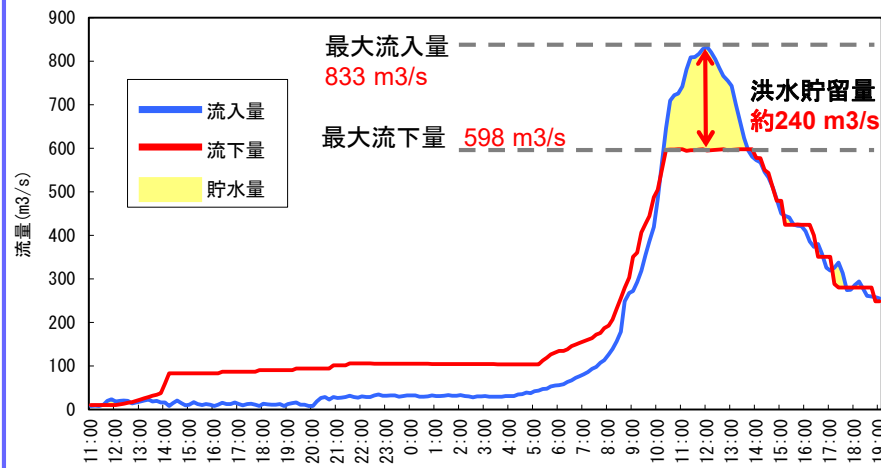
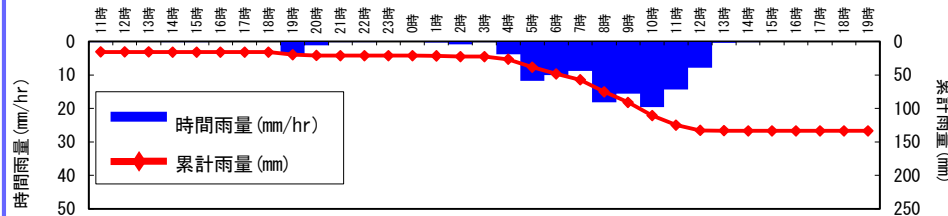
国土交通省	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	Tel: 0893-24-5185(代)
	副所長	高島 愛典（タカシマ ヤスノリ）	（内 204）
	事業対策官	新川 和之（シンカワ カズユキ）	（内 208）
◎	工務第一課長	小谷 精司（コタニ セイジ）	（内 311）

国土交通省	四国地方整備局	肱川ダム統合管理事務所	Tel: 0894-72-1211(代)
	副所長	南本 秀行（ミナミモト ヒデユキ）	（内 204）
◎	管理課長	多田 寛（タダ ヒロシ）	（内 331）

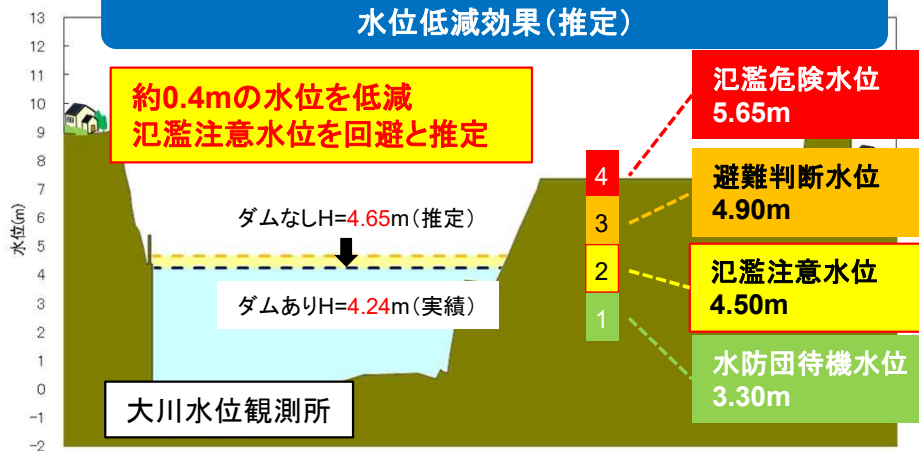
◎：主な問い合わせ先

令和6年5月27日からの大雨における 鹿野川ダム貯留による効果

鹿野川ダム洪水貯留状況



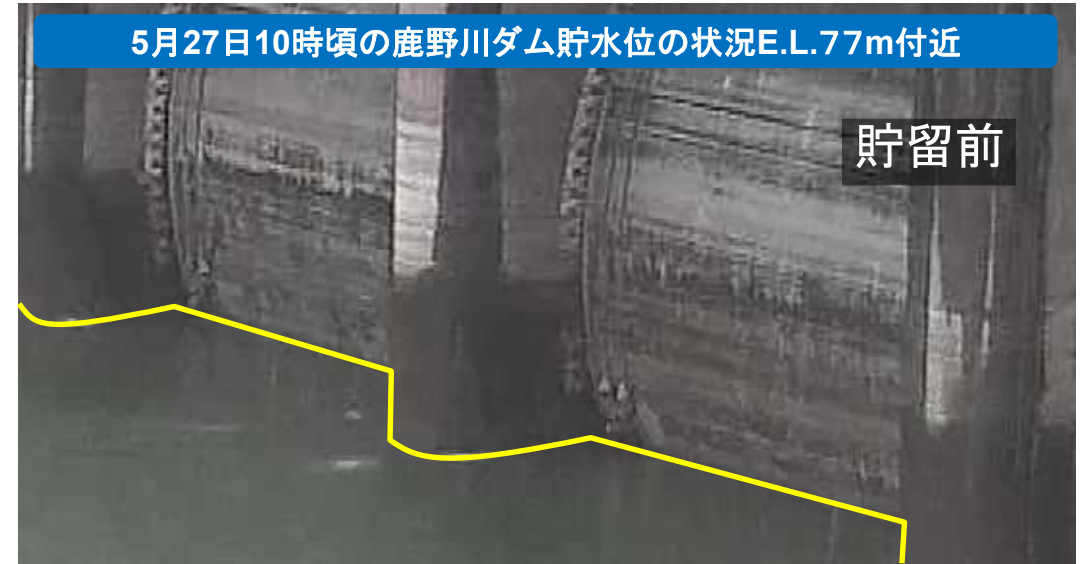
鹿野川ダムによる大川水位観測所付近の 水位低減効果（推定）



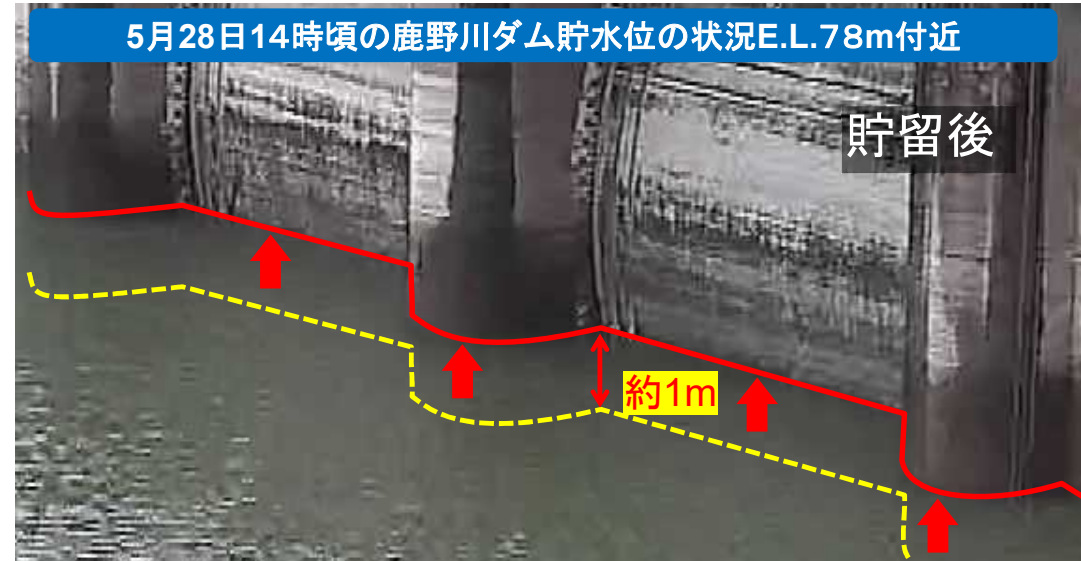
※令和6年5月31日までの基準水位

➤ 今回の出水では、鹿野川ダムにおける貯留効果（流入ピーク時に約240m³/s貯留）により大川水位観測所地点の河川水位を低減させ、**氾濫注意水位（4.50m）超過を回避させたと考えられます。**

5月27日10時頃の鹿野川ダム貯水位の状況E.L.77m付近



5月28日14時頃の鹿野川ダム貯水位の状況E.L.78m付近



※なお、資料における数値は速報値であり、今後修正する可能性があります。

被害軽減対策について

前線に伴う大雨により肱川本川の水位が上昇し、矢落川では東大洲地区の内水氾濫による浸水被害を軽減するため、樋門操作を適切に行うとともに、排水ポンプ車を配置し稼働させる事により浸水被害の軽減に努めました。

